

「第3期木材利用の促進に関する指針」(案)に関する意見募集結果について

「第3期木材利用の促進に関する指針」(案)について、県民の皆様から御意見を募集した結果は、次のとおりです。御意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

1 意見募集の期間

令和8年2月10日(火)～令和8年3月9日(月)まで

2 意見提出の状況

(1) 意見書の数 3件

(2) 具体の意見数 3件

3 お寄せいただいた御意見と県の考え方及び対応

番号	意見の概要	県の考え方・対応
1	<p>林野庁や他省庁でも温暖化防止策が進められており、本指針の木材利用の重要性は極めて高く、温暖化防止に貢献するだけでなく、県内の森林資源活用による地域活性化にも結びつきます。</p> <p>しかしながら、木材利用の重要性や県民・企業の協力の必要性の周知が不足していると考えます。気象災害が増加する中、木材利用が地球温暖化防止につながることを前面に押し出し、全庁横断的な取り組みにより、県民等への積極的な周知をお願いします。</p>	<p>木材利用は、森林資源の循環につながり、地域の産業や地球温暖化防止におおいに貢献するものと認識しています。</p> <p>木材利用の重要性等については、これまで周知してきたところですが、庁内の横断的な会議で改めて理解を進めるとともに、県民への周知活動については、令和9年度、本県で開催される「全国育樹祭」を最大限に活用し、今後行われる様々なイベントを通じて、森林の役割や木材利用のメリットを広く分かりやすく伝え、木材利用を促進していきます。</p> <p>御指導を踏まえて、指針を修文します。</p>

番号	意見の概要	県の考え方・対応
2	<p>秋田県は、杉に加え多様な樹種を産出し、伐採から加工まで一貫した技術を持つ国内でも珍しい地域です。現状、林業は杉中心で、広葉樹は用材としてではなくチップが主なものとなっています。広葉樹の原木を手に入れる場合、現在多くは、岩手県の原木市場経由であり、その市場には全国から業者が買い付けに来ています。</p> <p>広葉樹活用推進には、「秋田県産木材」と一括りにせず、特性を理解し、用途に応じた材種・製材設備への対応が重要です。</p> <p>今後、森林資源の適切な管理と、杉以外の樹種の製材技術の維持・更新、伐採時期の調整、原木の集積、新たな流通ルートの構築が不可欠です。その解決策として、杉消費業界と杉以外消費業界が林業関係者と意見交換することで、活用推進の糸口が見出されると考えます。</p> <p>国産材に注目が集まる今、広葉樹資源が豊富な秋田県はこの機会を逃すべきではなく、広葉樹の利活用に関する課題と対応策を検討し、その成果を次期指針に盛り込むことを要望します。</p>	<p>スギ以外の樹種として広葉樹は、林業・木材産業において重要な樹種として、県も認識しており、本指針における木材利用促進に係る施策は、県産広葉樹も含むものとなっております。</p> <p>広葉樹の良さを広めるため、今後とも家具等の製品については、様々な機会をとおして、県と関係業界と連携しながらセールス活動をより一層実施してまいります。</p> <p>また、広葉樹の利活用(原木供給)に関する課題については、原木生産者との意見交換や現地調査を行うなどして、原木供給の体制整備につながるよう検討を重ねてまいります。</p> <p>御指導を踏まえて、指針を修正します。</p>

番号	意見の概要	県の考え方・対応
3	<p>県内建築関係事業者は、急激な人口減少と少子高齢化による担い手不足、技術・技能継承の危機に直面しています。</p> <p>当会では、数年前より関係団体と連携し、県内の小・中学校で「ものづくり体験教室」を開催するなど、技能者の技術・技能継承に向けた普及活動に努めています。</p> <p>私たち建築関係事業者は、脱炭素社会の実現と森林資源の循環利用に寄与するため、県の木材利用促進に関する施策に協力し、県産材の住宅で県民が安心安全に暮らせるよう、関係事業者が責任をもって施工管理できる体制構築と人材育成に努めていただきたい。</p>	<p>県では、木材利用を進めるうえで、建築に係る技術の継承、人材の確保は大きな課題であると認識しています。</p> <p>指針においては、「木材利用の促進に必要な人材の育成」としての項目を設け、人材育成に向けた施策を実施してきており、貴会からの御意見も踏まえ、今後も重点的に展開していきますので、御理解と御協力をよろしくお願いします。</p>

4 問合せ先

秋田県農林水産部林業木材産業課

所在地 秋田県秋田市山王四丁目1番1号

電話 018-860-1915

FAX 018-860-3828

電子メール rinsan@pref.akita.lg.jp